

コアシンポジウム 4

「機能性消化管疾患の病態と治療 【新たな展開を求めて】」

司会 二神 生爾（日本医科大学武蔵小杉病院消化器内科）

田中 史生（大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学）

機能性消化管疾患の病態は消化管の運動機能異常、微小炎症、透過性亢進や知覚過敏、細菌叢の変化や脳腸相関の異常など多くの因子が関与するため複雑で、解明されていない課題が山積されている。また治療についても画一的な薬物治療では難治の症例もあり、治療の選択基準や期間、併用療法など今後の研究課題も数多く残されている。本コアシンポジウムでは病態、診断、治療に関する基礎的、臨床的研究の両面から幅広く演題を募集し、機能性消化管疾患研究の新たな展開に繋がるセッションとなることを期待する。